

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 自己啓発 | 二宮尊徳伝 (11)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

二宮尊徳伝 (11)

尊徳の仕法はどのようにして行われたのでしょうか。
弟子のひとりを書いた「報徳外記」にはこう残されています。

「分度」が立ち、税法が定まっのち、興復の実施に従事する。
その実施には順序がある。
まず領内の一村から始めるのである。
一村に行うに道がある。

- 1、善を貫すること
- 2、困窮者を恵み助けること
- 3、地力を尽くすこと
- 4、教化を布くこと
- 5、貯蓄を積むこと である。

この仕法の評判は全国に広がっていきます。
各地から救援の要請が尊徳のもとに寄せられました。
報徳仕法が各地に広まるにつれて仕法の原理もさらに深められていきました。

尊徳は「無尽蔵」という考え方を強調するようになりました。
現代的な言い方をするならばこういうことです。
パイの分け前だけで論ずると互いに奪い合うだけの「ゼロサムゲーム」になってしまいます。
しかしパイそのものを大きくするために皆で努力し協力しようではないかなれば状況は異なります。
現代版“連帯と協同”ですね。
そして勤労こそがそのパイを無尽蔵に産みだしていく源泉であることを力説しました。
尊徳が好んで詠んだという句が石碑に残されていますが、そのなかにもこんなサワリがあります。
「…無尽蔵 鎌でほり出せ 鎌でかりとれ」

尊徳の名声が高まるにつれ弟子として教えを受けようとする者が増えていき、その弟子たちの手により「報徳記」「二宮先生語録」「報徳外記」「二宮翁夜話」など、貴重な資料が現代に残されました。

(12) に続く

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>> 一覧へ戻る

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.